

結果(市民参加) (平均的意識値 市民 = 1.10 行政 = 1.27) (ポイント)

市民・行政ともに数値が高いもの
市民・行政ともに数値が低いもの
市民と行政の数値に大きく乖離があるもの

区分	設問	A	市民の回答値	結果(回答の状況)
		B	行政の回答値	
		C	差(A - B)	
B - 2		市民	1.63	・資料・説明のわかりやすさについて、市民・行政の意識差はなく、双方ともに高い数値となった。
		行政	1.63	
		差	0	
C - 1		市民	1.46	・検討経過が取りまとめに反映されているかについて、市民・行政ともに8割以上が肯定的に見ており、双方ともに高い数値となった。なお、未記入回答が市民8%、行政16%あるが、現在審議途中であり取りまとめに至っていないものについての回答と推察される。
		行政	1.81	
		差	-0.35	
D - 2		市民	1.78	・市民参加の継続意識について、市民は76%がaに、21%がbに回答しており、継続的関与について高い意識が見られる結果となった。また、行政も市民参加の成果を高く評価し、継続的参加を期待している結果があらわれた。
		行政	1.64	
		差	0.14	
B - 4		市民	0.29	・審議会や委員会自体が、広く市民意見を聴取する場であることから、本設問に対する回答の数値は市民・行政ともに低くなっている。しかしながら、自由意見からは、より幅広い層からの意見聴取の必要性や、現在の会議運営の中で創意工夫が行なわれている事例が見受けられた。
		行政	0.35	
		差	-0.06	
D - 4		市民	1.03	・参加に伴う負担意識について、市民・行政ともに約7割は負担意識がないと回答しているが、双方ともに約2割が負担を感じた(感じさせた)と回答したため、平均値が下がっている。したがって、市民と行政の意識差としてはあらわれていない。
		行政	0.87	
		差	0.16	
A - 1		市民	0.82	・情報入手について、行政は9割超が比較的容易と感じているが、市民は6割にとどまり、否定的とする回答が2割を超え、グラフ上の意識差があらわれた。なお、市民の未記入回答は、団体推薦の委員と行政職員から情報を入手した委員の回答となっている。
		行政	1.5	
		差	-0.68	
A - 4		市民	0.79	・会議の構成員について、行政は約9割が肯定的回答を行なっているが、c回答が1割を超えている。また、市民は、b回答が約5割、c、d、未記入回答をあわせ約3割となったことから意識差が見られる結果となった。
		行政	1.44	
		差	-0.65	
C - 2		市民	0.97	・議論の熟度について、市民・行政ともに8割が肯定的に見ているが、市民はb回答に5割、c回答も1割を超えたことから全体的な平均値を下回り0.5ポイントの意識差があらわれた。
		行政	1.52	
		差	-0.55	
C - 3		市民	0.37	・審議経過・結果の公開について、行政は8割が肯定的回答をしているが、a・bの回答がほぼ同率であることから数値は高くなっていない。また、市民はc・d回答が約4割、a回答数も低くなっており、全体の中で大きな意識差となってあらわれた。
		行政	1.29	
		差	-0.92	
C - 4		市民	0.72	・審議結果が政策にどのように反映されたかについての情報提供の現状について、市民はb回答の比重が高く、c回答も2割を超えた。行政の数値は高くなっているが、市民と同じくb回答の比重が高くなっていること、取りまとめに至っていないことよっての回答保留が3割を超えていることから、的確な比較は難しいものと思われる。
		行政	1.35	
		差	-0.63	